

質疑応答の概要

番号	意見・情報等（概要）	意見・情報等に対する考え方 （説明会での回答要旨）
1	工事用車両の走行に係る騒音・振動の予測地点を事業地南側の県道としているが、事業地内の車両の通行と進入経路の方が重要であり、予測評価すべき。	工事用車両は、県道から出入りすることを想定していることから、県道に最も近接する場所での評価を行いました。事業地内の予測評価については、今後の設計段階等で検討してまいります。
2	工事騒音・振動の影響が明確になった時点で対策を行うのか。	工事にあたり、周辺地域に影響が出ないよう対策を講じるとともに、工事の着手前には工事内容等について地域の皆様に説明を行います。
3	第3種陸上競技場について、夜間照明の光害や騒音・振動の予測評価はないのか。また、第3種陸上競技場東側の駐車場は、駐車台数が多く、騒音・振動について住民への説明が必要。	第3種陸上競技場の夜間照明は、設置の有無を含め、詳細は今後検討いたします。光害や騒音・振動については、周辺地域に影響の出ないよう検討してまいります。
4	競技場整備後の来客多数時や通学時の道路交通状況についての予測はいつ実施するのか。	交通量調査と予測評価を夏頃までに行う予定です。対策についても道路部局等の関係部局と協議のうえ並行して検討いたします。
5	漁業組合と水質等について協議しているのか。大黒川に排水するという点について漁業組合と協議すべき。	現時点では、漁業組合との協議は行っておりません。今後、漁業組合とも協議を行ってまいります。
6	地域住民にとっては騒音の数値が上がることに不安感がある。現在は静かな環境であることに配慮し、騒音基準値の限度まで数値が上がることの無いよう検討すること。	地域の現状を踏まえ、対策を検討してまいります。

質疑応答の概要

彦根市からの回答

番号	意見・情報等（概要）	意見・情報等に対する考え方 （説明会での回答要旨）
1	彦根市に対する質疑やご意見等はありませんでした。	

質疑応答の概要

番号	意見・情報等（概要）	意見・情報等に対する考え方 （説明会での回答要旨）
1	公園整備スケジュールの第2期工事の内容は何か。国体開催後に必要となる工事があるのか。	国体開催時には多数の選手や観客、役員等関係者が公園に集まります。この際、広い平坦な場所が必要となるため、国体開催時に平地を確保し、国体終了後に公園としての完成を目指すことを想定しています。国体開催後に実施する施設整備を第2期工事として位置付けています。
2	公園敷地の拡張について、地権者向けのスケジュールはどのようなものか。用地買収については、早めにスケジュールを説明すること。	現在は土地に関する測量の一部を実施済みであり、3月下旬以降に地権者を対象とした説明会を開催のうえ用地立会を行う予定です。その後不動産鑑定評価を行い、平成28年度半ば頃から用地のお話をさせていただく予定です。今後、地権者の皆様にお知らせさせていただきます。
3	工事中に振動等が生じた場合の連絡先を明らかにするとともに、今後発出される案内文に示すこと。	工事施工時には多数の工事業者が入り出しますが、彦根市と連携のうえ皆様に連絡先を確実にお知らせするよういたします。
4	土地の改変による動植物への影響はないと説明されているが、工事区域の中では生物環境に影響が生じることになる。報告書の表現を訂正すべき。	予測評価の結果から動植物に対する工事の影響はないと表現したのですが、誤解を与えることのないよう表現の修正を検討いたします。
5	施設の存在に係る光害について、第1種陸上競技場設置による影響のみ予測しているが、庭球場設置による影響と対策を示すべき。	庭球場設置による光害についても調査を検討してまいります。庭球場の設置にあたっては、周辺地域に配慮した設計を行います。
6	防音壁や植林帯を設置した場合、道路に日影が出来て通学路の積雪が融けなくなる。積雪対策を合わせて考慮すべき。	積雪対策は、周辺の市道計画と関連するため、県市協議のうえ対応を検討してまいります。
7	公園周辺に子ども達の通学路がある。交通安全を図る必要があるのに交通安全に関する調査がない。早急に交通影響にかかる評価を行うこと。	周辺の道路交通に与える影響と対策の検討は、非常に重要な課題です。早期に交通量調査を行い、影響や対策を検討してまいります。
8	工事用車両の通行予測地点は、県道沿いに設定されているが、工事用車両の出入りは県道側からのみ行われると考えてよいのか。	工事用車両は、基本的に県道からの出入りを予定していますが、今後設計を進めていく中で検討し、住民の皆様に十分説明してまいります。
9	工事中は工事用車両の退避場所が必要となるが、道路上で退避することのないよう退避場所を確保すべき。	工事用車両の退避については、道路上が退避場とならないよう対応してまいります。工事計画の中で検討し、住民の皆様に説明してまいります。
10	雨水排水は、大黒川へ流出されることになっているが、大黒川は松原の住宅地側が低く、現状でも溢れそうになっている。市道整備により道路側が今以上に高くならないか懸念している。今後、雨水排水が増えるのであれば危険に感じる。	彦根市は、市道整備と並行して大黒川の護岸等の整備を計画しておられます。県市協議のうえ公園からの排水が住宅地側に行かないよう検討してまいります。
11	騒音対策としてスピーカーの位置や向きを工夫するとしているが、音は風向きによって届く範囲が変わる。 場内アナウンス音量の制限は、競技者の立場に立てば、アナウンスが聞こえづらい状況は不都合である。競技運営を考えた場合、実施可能な対策なのか。	施設供用に係る騒音・振動については、施設管理者とも協議のうえ現実的な対策を検討してまいります。

質疑応答の概要

番号	意見・情報等（概要）	意見・情報等に対する考え方 （説明会での回答要旨）
12	今回の生活環境調査は工事に先立つ事前調査だが、工事着手前に改めて調査を行うのか。また、公園施設の完成後に改めて調査結果の報告を行うのか。	今回の調査結果は、基本計画時点での予測値であり、今後、工事着手前の事前調査や工事中の地下水監視調査などを行い、住民の皆様にご報告を説明してまいります。
13	工事振動等による家屋への影響が考えられるが、影響する隣接自治会の範囲をどこまでと考えているのか。	工事の影響に係る建物調査については、今後、影響範囲を精査のうえ実施してまいります。
14	公園拡張区域の北東部に居住しており、住居近くの公園北側からの工事用車両の出入りが必要になると考えるが、この場合の騒音・振動に配慮するとともに、影響調査を行っていただきたい。	工事の着手に際し、住宅の近辺を工事する場合は、事前調査を行ったうえで工事をいたします。
15	現在の陸上競技場で行っているイベントや地元の小学校、高校は第3種陸上競技場を使用すると思われる。同競技場に係る騒音やゴミの問題、人の出入り増加による治安の悪化といった課題があることを配慮いただきたい。	ご意見として承り、今後、対応を検討してまいります。
16	工事により地下水に影響が生じると自宅の地盤にも影響が生じる。詳細なデータを示すとともに、地盤沈下に配慮した工事計画とすること。	地盤沈下対策については、ボーリング調査等を踏まえ、周辺地域に影響の出ないよう対策してまいります。
17	カラスの対応をしてもらいたい。何十羽も来ると住民は大変だ。	カラスについて地域の実情を存じません。対応できるものがあれば検討してまいります。
18	第3種陸上競技場付近で嵩上げ工事が行われているが、用地買収は済んでいるのか。国体用地になるとわかっていて嵩上げ工事を行っているのか。嵩上げ工事を中止すべき。	用地買収は、今後行うよう準備しております。嵩上げ工事については、関係者と対応を協議しましたが、様々な事情から事業を中止できませんでした。

質疑応答の概要

彦根市からの回答

番号	意見・情報等（概要）	意見・情報等に対する考え方 （説明会での回答要旨）
1	積雪時に通学路の除雪を地元住民が行っているが、市道整備後は、集めた雪をどこに捨てれば良いのか。	道路側溝が開渠であれば除雪作業は容易になりますが、現在の計画では道路側溝の暗渠化を想定しています。よって除雪作業は難しくなりますが、歩道の幅を広く確保する計画ですので、道路端に除雪することにより通行幅は確保できると考えております。なお、歩道の除雪につきましては、引き続き地域の皆様でお願いしたいと考えております。
2	大黒川の改修にあたり、当地は元々松原内湖だったことから、カヌーや手漕ぎボートを下ろす場所を設けていただきたい。	ご意見として承ります。大黒川の具体的な改修方針は今後、詳細設計にて定めてまいります。
3	城北小学校北側の市道を湖岸道路に接続する計画であったのに、整備計画の変更により接続されなくなった。将来の子ども世代にとっては、道路整備すべきなのに計画を変更して良いのか。	当初は市道を湖岸道路に接続する計画でしたが、湖岸道路との接続により日常の通過交通の増加が見込まれることから、通学路の安全確保を考え、計画を変更いたしました。

質疑応答の概要

番号	意見・情報等（概要）	意見・情報等に対する考え方 (説明会での回答要旨)
1	地盤対策は、支持柱による対策を行うと説明があった。競技場のトラックとスタンドでは荷重が異なるが、スタンド部分は別途検討するとしている。公園整備スケジュールでは基盤整備と建築設計が分かれているため、縦割りの仕事になっていて横の連携が出来ていないのではないのか。	第1種陸上競技場は、傾きに対し十分な精度が要求されるため、トラック部分は深層混合処理工法と表層混合処理工法の組合せ工法の採用を念頭に基本設計を進めているところです。スタンド部分は、諸室の数や高さ等規模が決定しておりません。規模の決定以降、施設に見合った基礎となるよう設計の中で対策を検討してまいります。
2	建設機械の稼働に係る騒音・振動の予測方法はどのようなものか。	騒音・振動の予測根拠は、当事業と同程度以上の規模の工事例である市立吹田サッカースタジアムの予測調査を考慮して予測しています。
3	騒音・振動の影響値は、工事の内容により変わるが、どのように変わるのか。	工事による影響は、今後の設計の中で検討してまいります。状況に応じてモニタリング調査を行います。
4	工事施工時の騒音・振動が影響予測値を超えた場合、工事を中止するのか。	工事施工時に影響予測値や環境基準値を超えた場合の対応については、工事着手前の段階で地元の皆様に説明させていただきます。
5	工事の振動による家屋補償を考えているのか。	工事の振動により家屋にひびや傾きが発生することのないよう、影響範囲等を精査し、調査を行ってまいります。
6	今回の調査報告では、施設整備による生活環境への影響はないと説明しているが、実際の工事施工時に見込み通りできなかった、想定外だったという事態のないようにすること。また、問題発生時に速やかに対応する部署を予め決めておくこと。	工事の騒音・振動等において想定外の事態が発生した場合の対応については、工事着手前に地元の皆様に説明を行い、工事中も県市連携のうえ担当窓口を設け、しっかりと対応してまいります。
7	工事用車両の出入口はどこになるのか。	工事用車両は、基本的に県道からの出入りを予定していますが、今後設計を進めていく中で検討し、住民の皆様に説明してまいります。
8	自宅で仕事や家事に地下水を使用している。地下水の流れや地盤沈下に大きな影響がないと説明があったが、工事前の事前調査として家屋調査に加え、地下水の水質や水位についても調査いただきたい。	地下水の使用に影響のないよう今後の設計の中で配慮してまいります。地下水の監視については、適切な監視計画の中で井戸水の監視を行うことで対応してまいります。

質疑応答の概要

彦根市からの回答

番号	意見・情報等（概要）	意見・情報等に対する考え方 （説明会での回答要旨）
1	大黒川は、築堤自体が法面の勾配になっており堅固な川ではない。大型車両の通行もある中で断面構造を変える計画はあるのか。大黒川は用悪水路であり、底板が有る所と無い所があるが、みどり橋付近の断面はどうなるのか。	大黒川は、市道整備と並行して改修を計画しています。現在は測量中であり、平成28年度に詳細設計を予定しています。護岸整備については、概略設計を地元の皆様に説明させていただきます。いただいたご意見について、反映できるものについては検討させていただきます。
2	城北小学校前の市道は拡幅するのか、現状どおりなのか。	道路拡幅を計画しており、幅員16mの2車線、両側歩道での整備を予定しています。当初は、市道を湖岸道路に接続する計画でしたが、湖岸道路との接続により日常の通過交通の増加や通学路の安全確保を考え、城北小学校前から大黒川沿いに4車線道路までを結ぶ計画に改めました。
3	大黒川を暗渠化しないのか。暗渠化を希望する。	大黒川の暗渠化を希望する意見は以前にも伺っています。今後の詳細設計の中で整備方法について地元の皆様に説明させていただき、ご意見を伺います。ただし、河川に蓋をすると道路冠水などの危険性があるほか維持管理面でも問題があるため、基本的には開渠での整備を考えておりますが、場所によってはBOXカルバート施工を含め検討してまいります。
4	川幅が広い部分は暗渠化できないと思うが、狭い部分は暗渠化できるのではないかと。暗渠化すれば歩道や自転車道程度は整備できる。	大黒川は途中から狭くなるため、その部分については、BOXカルバート等により施工する可能性はあります。今後、皆様にご意見を伺いながら検討してまいります。